



と考えるが。(森川)

**答** ブランド観光課の設置を行う。専門職や担当チームの検討もしていきたい。

◆25年度組織変更について

**問** ブランド観光課は商工課や商工会議所との連携を考え市民交流センターに移動すべきだと考えるが。(中原巳)

**答** 両論あることは承知している。相互連携を図り検討する。

◆交通安全教育

**問** 交通安全組織一本化とNPO法人との関係は。(青木)

**答** 来年度から、塩尻市交通安全対策委員会に塩尻市交通安全会議の機能を集約、一本化し、交通安全教育は設立されたNPO法人に委託する。

◆職員給与削減問題について  
**問** 国は地方公務員の賃金を7.8%引き下げを求めている



各種団体が事務所を置くえんぱーく

指定管理者制度を導入した大門駐車場



いるが、削減問題にとどまらず地域経済の立て直しなど様々な問題がある。市としての対応はどうか。(柴田)

**答** 本市においては、労働組合とも協議をしながら引き下げ率をどのくらいにするか検討していきたい。

◆指定管理者制度の審査会の構成について

**問** 現在の副市長と部長だけの構成ではなく、外部有識者のみ、もしくは外部有識者が全体の3分の2以上を占める構成にしてはどうか。(金子)

**答** 全面的に見直しを行い、審査会の委員のうち半数以上を外部有識者から加わってもらうよう検討を進めており、透明性、公正性を担保し制度の本来の趣旨に沿った選定を行えるよう改善する。

**問** 指定する施設ごと利用者の代表を審査委員に任命する考えは。(金子)

**答** 施設それぞれに設置目的があり、効用をはからないといけない。外部の方を入れることは腹を決めているので、利用者の代表の方も含めて検討していく。

## 読書環境の充実を図る



◆読書環境整備

**問** 市立図書館と学校図書館の連携により読書環境の充実と図書貸出冊数日本一の市を目指して。(中原巳)

**答** 市立図書館と学校図書館が連携し子どもの読書力パワースタップ事業を計画している。全小中学校に学校図書館司書を配置し人事管理を一元化し勤務日数を増やし読書や調べ物相談に乗る機会や体制を強



市立図書館



学校図書館

化する。学校用の貸し出しセットを作り、各校に順次貸し出す事業を行う。セットは小学校低学年・高学年各2セット、中学校1セットを作る。小学校は2グループとし貸し出しセット1セットは200冊で1カ月単位で各校を巡回する。また信州塩尻本の寺子屋事業については、図書館と地元書店、著者、出版社等が連携し、本の魅力を発信、地域の読書環境を整えていく。

今年度は13の講座・講演のほか、絵本作家のトークショー、原画展、絵本づくり等、本の魅力を感じ、本に関心を持つことのできる企画を継続的に実施し図書貸出数日本一を目指したい。